



# 環境管理

## ENVIRONMENTAL MANAGEMENT



### 環境行動目標(アクションプラン) [対象期間:2018年4月1日~2019年3月31日]

「アクションプラン」は、中部電力グループ環境基本方針のもと具体的な行動目標を定めたものです。

○…単年度目標達成 △…一部達成 ◇◇…中期目標達成

項目	中期目標(2020年度)	中期目標の達成状況	目標(2018年度)	評価(2018年度)
 低炭素社会の実現	原子力発電 <ul style="list-style-type: none"> <li>●安全の確保と地域の皆さまの信頼を最優先に原子力発電の継続的な活用</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新規基準を踏まえた安全性向上対策を着実に進めます。</li> <li>●浜岡4号機が新規基準に適合しているとの確認をいただけるよう審査対応を確実に進めます。</li> </ul>	○
	再生可能エネルギー <ul style="list-style-type: none"> <li>●再生可能エネルギーの活用拡大</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>●グループ一体での積極的な拡大および国の固定価格買取制度などに基づく再生可能エネルギーの着実な購入を行います。</li> <li>●再生可能エネルギーが電力系統に大量連系した場合に必要な安定化対策や調整力確保のための施策へ取り組みます。</li> </ul>	○
	火力発電所の熱効率向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>●既存設備の継続的な熱効率維持および最適な運用により世界最高水準の火力発電効率の実現 総合熱効率:47%(低位発熱量基準)</li> </ul>	◇◇	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高効率火力発電プラントの高稼働運転を行います。</li> </ul>	○
	次世代自動車の導入推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>●次世代自動車の導入推進:1,500台導入</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>●既存車の適切な点検・整備により燃費を維持し、車両の延命化を図ります。一方で、厳しい経営環境を鑑みて、次世代自動車の取替・新規導入は見送りました。</li> </ul>	○
	家庭部門の省エネルギー <ul style="list-style-type: none"> <li>●省エネ・省CO<sub>2</sub>コンサルティングサービスの充実</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>●エコキュートをはじめ、省エネルギーに資するヒートポンプ機器(高効率機器)の普及に向け、各種施策の展開やPRの充実を図ります。</li> </ul>	○
	業務・産業部門の省エネルギー <ul style="list-style-type: none"> <li>●最適なエネルギー利用を提案するトータルエネルギーソリューションサービスの充実</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>●再生可能エネルギー利用技術である「電気式ヒートポンプ」を活用した高効率機器の普及拡大や提案活動による省エネルギーの推進を図ります。</li> </ul>	○
CO <sub>2</sub> 削減の研究 <ul style="list-style-type: none"> <li>●CO<sub>2</sub>削減に関する研究の推進、次世代自動車普及支援</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>●CO<sub>2</sub>削減に関する研究を推進します。</li> </ul>	○	
 自然との共生	生物多様性に配慮した事業活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>●生物多様性に配慮した事業の実施</li> <li>●事業エリアの自然との調和、環境保全</li> <li>●自然再生活動、自然保全技術開発の推進</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自然や景観に配慮した設備形成を継続・促進します。</li> <li>●発電所の緑地や地域共生施設を適切に維持・管理します。</li> </ul>	○
 循環型社会の実現	3Rの推進 グリーン調達 <ul style="list-style-type: none"> <li>●中部電力およびグループ会社の廃棄物社外埋立処分量の削減 廃棄物の社外埋立処分量:1%未満</li> </ul>	◇◇	<ul style="list-style-type: none"> <li>●廃棄物の社外埋立処分量について1%未満を維持します。</li> </ul>	○
	グリーン調達の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>●中部電力およびグループ会社の事務用消耗品のグリーン調達率向上</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事務消耗品のグリーン調達率の向上を図ります。</li> <li>●アモルフラス変圧器(グリーン調達品)を一部配電工事に使用します。(1,500台)</li> </ul>	○
	化学物質管理 PCB処理の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>●PCB含有機器の確実な管理および処理の推進、2026年度末までに処理完了</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>●低濃度PCB絶縁油の処理量:4,818kℓ</li> <li>●低濃度PCB含有柱上変圧器の処理台数:40,000台</li> <li>●高濃度PCB含有機器の処理台数:(安定器)4.8t</li> </ul>	○
 環境意識の向上	環境に配慮した行動が自発的にできる人材の育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>●中部電力およびグループ会社従業員の環境配慮意識の維持向上 (ECOポイント活動への積極的な参加、ちゅうでんフォレスター累計300人育成)</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ECOポイント活動と同活動の一環で実施する社会貢献活動を継続します。</li> <li>●森林ボランティア指導者「ちゅうでんフォレスター」13期生10名を育成します。</li> <li>●当社で養成した環境人材を社会貢献活動の指導者として活用します。</li> </ul>	○
	地域との連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域と連携したエネルギーと環境に関する教育の充実</li> <li>●地域社会への積極的な環境活動の実施、地域企業との連携強化</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>●エネルギーや環境に関する教育支援活動等を推進します。</li> <li>●EPOCを通じて地域企業との連携強化を図ります。</li> </ul>	○
	世界との連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>●中部電力およびグループ会社の技術やノウハウなどを活用した海外エネルギー事業の実施拡大</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新たな再生可能エネルギー案件の調査・開発を継続します。</li> <li>●参画済みの再生可能エネルギー案件の適切な運営を行います。</li> </ul>	○
 環境管理の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中部電力およびグループ会社における環境管理の手法を活用した有効で効率的な業務改善の継続的な推進</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>●グループ各社の業務実態に応じた有効で効率的な環境管理活動を推進します。</li> </ul>	○